

令和元年度 三田市社会福祉協議会 事業報告・会計報告

目標『組織機能を強化し、信頼される社協になります』

報告 職員が組織での役割を自覚し、的確で迅速な事業運営ができるよう職員行動規範に基づいた行動に努めました。財政健全化に向けた取組は、社協運営で重要な項目であり、平成26年度から財政安定化積立金を取り崩しての運営となっていることから、改善の努力がさらに必要な状況です。

広報においては、社協PR大使“さんだ愛の妖精 さっちゃん”を活用し、社協だよりや出張ふくし教室、社協サポーター（会員）募集に取り組みました。

目標『地域共生社会に向けて、多様な主体と協働する地域づくりを推進します』

報告 地域の困りごとの解決や「安心・豊かな地域にしたい!」という想いの実現に向けて、住民の皆さまを中心としながら、地元の企業・事業所などの様々な主体の参画を促進しました。生活協同組合コープこうべと三田市との買い物支援協定を締結した他、地域貢献をテーマとした交流セミナーや連絡会の開催などを通してみんなで考える地域づくりを推進しました。



協定締結式の様子

目標『自分らしい暮らしの実現のための支援を地域ぐるみで推進します』

報告 「認知症になっても、地域の中で暮らしたい」を支えていくために、認知症の早期診断や早期対応に向けて、医療・福祉の専門チームによる集中的支援体制づくりや、その人らしい日常を護り支える生活支援、認知症を正しく理解し、地域や職場で見守り支えるサポーター養成に取り組みました。



認知症帰宅困難者への声掛け訓練（広野地区）

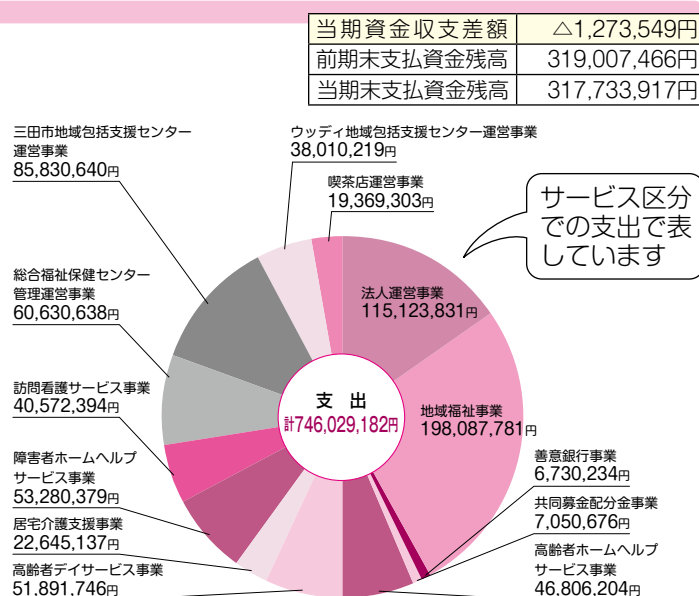
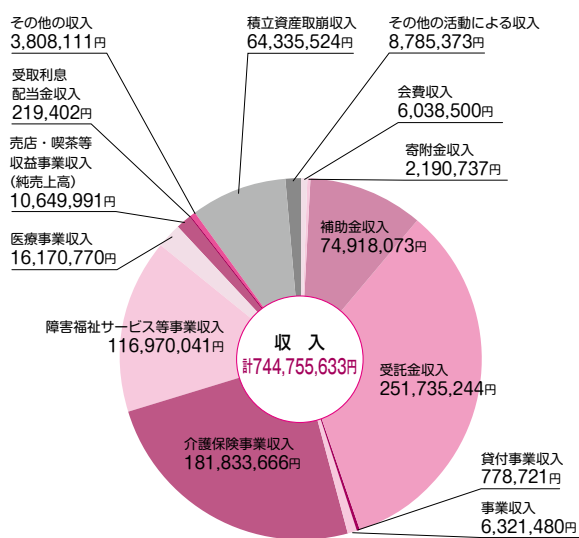
目標『利用者・家族等がいきいきと自分らしく暮らしていくための支援をすすめます』

報告 社協の総合性をもとに、訪問看護、ホームヘルプ（高齢・障害）、デイサービス（高齢・障害）、居宅介護支援（ケアマネジャー）の介護サービスを実施し、法人使命である地域福祉の推進に取り組みました。



笑顔を引き出す支援をめざして（高齢者デイサービス）

会計の状況（資金収支計算書）



サービス区分での支出で表しています

令和元年度の当期活動増減差額は△36,795,159円となっており、法人単位事業活動計算書（第2号第1様式）法人単位貸借対照表（第3号第1様式）および財産目録につきまして法人単位資金収支計算書（第1号第1様式）とあわせて、ホームページに掲載していますのでご覧ください。